

備前市議会報告会（令和6年度第4回）実施報告書

開 催 日 時	令和7年2月9日（日） 13時30分開会 ～ 15時45分閉会	
開 催 場 所	備前市議会議事堂（市役所 6 階）	
議員出席者	司会者	内田敏憲
	報告者	石原和人、青山孝樹
	記録者	守井秀龍、森本洋子
	受付・案内	尾川直行、奥道光人、立川 茂、山本 成
	その他	西上徳一（議長）、中西裕康、藪内 靖、松本 仁、草加忠弘
参 加 人 数	16人（内訳 男性14人／女性2人）	
報 告 内 容	令和7年2月発行の備前市議会だより第71号から報告	
市政に関する 意 見 交 換	（意見・提言・要望等）	（回答・対応）
	クリーンアップの提案について ○予算（お金）をかけずに、掃除を行うということに取り組んでもらいたい。海外から移住してきた方は、ゴミ袋を持って散歩をされている方もいる。誰かが掃除を始めると周りにも影響があり、効果があると思う。	●厚生文教委員会で、茅ヶ崎市へ海ごみ対策について行政視察に行った。市としては、時間はかかったが啓発活動を行い、ボランティア団体と協力して行う中で市民の意識が変わってきたと言われていた。行政の仕掛けや指導が必要と思う。茅ヶ崎市を参考に様々な提案をしていきたい。
	文化交流の締結について ○フィリピン コルドバ町との協定締結に反対ではないが、英語にもなまりがあり、子どもたちにはスタンダードな英語から始めてもらいたい。	●厚生文教委員会で大宮国際中等教育学校に行政視察に行った。IB教育が進んでいる。教員配置はALT 1 名、ネイティブイングリッシュを喋れる教師が14名、スタンダードな英語を大切にされていた。コルドバ町との締結は、議会の中でも賛成反対があった。

	アメリカでなかったらいけないと言っているわけではない。他国の方だと審査が必要と思う。これから勉強される人は、きれいな英語を話される方がいい。フィリピンの町だからいやだと言っていない。 中学校の統合について ○人口減少による中学校の統合の問題がある。小学校を卒業しても、私立の中学校や部活のために地元外の中学校に進学する生徒もいる状況。地元の中学校では部活も自由にできない。統合は避けてとおれない状況だと思う。市として早期に方向性を示してもらいたい。 ○現時点では、方向性が示されていないということで、目の前の問題だと思うので、早く取り組んでもらいたい。 備前緑陽高校の通学補助について ○通学補助を行うのであれば、市内全ての高校生に行ってもらいたい。備前緑陽高校の存続のためだと思うが、補助するのであれば、中学3年生に高校進学のお祝いとして全員にだすのが筋だと思う。三石や吉永は、備前緑陽高校に入学の対象になっているのか。通学できない状況である。和気、瀬戸高校、山陽本線になる。生徒を集	●備前中学校については、学年で複数学級もあるが、他の中学校は複数学級がなくなってきている。部活動に関しては、複数の学校が合同で活動、試合にでている。部活動の地域移行も全国でされており、吉永、三石、伊里、日生の4校の統合を進めたこともあったが、様々な状況でなくなった。現在は、小中一貫校で進めている。勉強や部活動でお互いに切磋琢磨していく年代、統合を考えていかなくてもいけないと思うが、市の方針は、小中一貫教育を進めている。 ●三石方面、和気方面から備前緑陽高校生通学する生徒に対して、バスの対応は行っている。市外の高校に通学する生徒にも補助をとの声は、議会でもあった。この度は、地元の高校を存続させるということからの市の事業。議会としても賛成した。 ●高校の存続にノスタルジーだけでいいのか、矢掛の方でも行っている。
--	---	---

	めたいのであれば、バスとか考えるのも一つの方法だと思う。 ○先ほどのことで、2つポイントがあって、1つは無駄遣いを切って皆さんにあげたらいいと思う。2つ目は、備前緑陽高校が生徒に来てもらえるように努力すべきこと。 議会について ○備前市政が右往左往している。10年間繰り返しているように思う。市民から選ばれた議員だから、会派とかだけではなく、市民のために考えて妥協できないものか。答えなくていい。（録音なし） ○タウンミーティングとか、50人、100人と集めて、議員・市長や地区の代表の方々と話しの中で、角がとれていくのではないかと思う。瀬戸内市が行っているみたいに。 土器議員の一般質問について ○財政のことについて、改善したとかかれている理由と内訳を教えてください。	果たして備前市で通用するのか、考えていかななくてはならないと思う。 ●予算審議の中では、2つの点は少数意見だった。負担の公平性からみると、備前緑陽高校生だけでは不公平な話。備前緑陽高校が魅力を発揮するためのプランに備前市が補助金を出す方法も考えられる。県の教育委員会にも理解いただく。 ●伊里地区においては、毎月区長会で議員も参加して、地元とやり取りしている。 ●これまでも、いろんな形で議会報告会を行ってきた。現在は議会だよりの発行をもって報告としている。それぞれ議員の考え方もあるが、議会として報告をさせてもらっている。 ●経常収支比率、令和2年度97.6%、県内15市中ワーストで大きく注目された。令和3年度には大きく改善。そこについては、コロナ禍で令和2年度猶予されていた固定資産税や市税等が、令和3年度に増えてきて改善。令和4年度以降、分母に計上されていた経費が取り扱いの変更によって、数億円分が除外されていた。
--	--	--

		マスコミが経常収支比率を取り上げるが、実質公債比率、将来負担比率とか他指標の方も重視されている。 ●実質公債比率も以前は13～14%であったものが、8.9%に改善された。財政調整基金が約60億円。一般財政が220～30億円で、一般的には2割程度でよいという財政調整基金でみると改善されていると思う。
	司書について ○会計年度任用職員の複数の小中学校の図書室司書の契約更新が遅れていると話を聞いている。早期更新をしてもらえるように、議員の方に気を配っていただきたい。	●司書の件は、初めて伺った。明日、所管委員会があるので質しておく。
	市議会議員選挙について ○前回の市議選時に誰に投票すればよいのかわからなかった。地域の代表かもしれないが、地域のためだけに動かれているわけではないと思う。1年後の市議選に向けて投票する判断材料のため、公開討論会の開催など考えてはどうか。議会に新しい風が入ってくるよう若い方が議員になれるような取り組みを考えてもらいたい。	●担い手を増やす検討をしていきたい。各会派で議会説明会や懇談会をされている会派もあるようだ。皆様のご意見を伺いながら進めていきたい。
	議員の担い手不足について ○若い方が子育てをしながら、議員を務めるには報酬の問題もあると思う。議員数削減時に報酬を上げたまちもある。議員の専業、兼業も含め、夜の議会、休日の議会の開催なども含めて、議会改革があってもいいのでは。	●議員報酬は月額35万5千円、議員年金はない。若い方の立候補は厳しい。真剣に考えないといけない。備前市と倉敷や岡山市の職員の給料も違う。 ●議会報告会は、個人的な意見はあまり言えないというのが建前。中学校の

	○議会全体が変わるべき。外部から新しい風が入る必要がある。女性議員が3～4人入って、しがらみもなく、人としていいと思うことを進めてもらいたい。女性議員が少ない。備前市はよどんでいる。市長選にあきあきしている。若い人が魅力を感じるような議会、住民のためになるような議会を、個人の要望で願望。 ○議会報告会の趣旨がよくわかった。市民は、様々聞いてほしいと思っている。対話の会を作ってほしい。子供たちの話を聞く。感想をいうような場も作ってほしい。	統合問題は、人口減少の問題。小学校は統合しないというのが今の方針。小学校によっては、複式学級があることも承知している。先ほどの話から中学校統合問題研究会とか、立ち上げて取り組んでいくべきと考える。地域の代表ではないということは、議員も肝に銘じており、市民の方の意見を聞こうと思うと細かい要望にも応えていくことになる。皆様に関心を持っていたくことが、議会改革に繋がると思う。
そ の 他 特 記 事 項	参加者のうち発言希望者と意見交換を行う方式とした。	

上記のとおり提出します。

令和7年2月17日

備前市議会議長 西 上 徳 一 様

報告者 守 井 秀 龍
森 本 洋 子